

# より良い職場と地域をつくる

## ゼロからわかる労働組合スタート講座 (関連記事は3面)

全国の青年が大阪に集まり大いに学んで交流を深めた



職員も住民も安心してらせる自治体に！

デジタル化は利用者目線で！

大阪自治労連は、住民のいのちと安全を守るため、職場と地域で運動にとりこんでいます。とりわけ、慢性的な職員不足と業務の多様化にともなって、一人あたりの業務負担が増大しています。多発する自然災害の備えなど十分な職員体制が不可欠です。新採職員のみなさんは、仕事のすすめ方や職場の雰囲気慣れましたか？ もし、何か困ったときには、職場の先輩や労働組合になんでも相談してくださいね。みんなで助けあって明るい職場をつくりましょう。



公共を国民・住民の手に取り戻す 大阪シンポジウム2026 (関連記事は2面)

# 職場の声を大切に 新体制で要求づくり

河南町職員労働組合

執行委員長 立華 良太さん



新執行部メンバー 左から浦所義貴さん、内田靖さん、立華良太さん、寺口裕規さん

今年3月に執行委員長に選ばれた立華さん。職場環境を良くしたいという思いから「組合の力を大きくするため、組合員を増やそう」と決意して、自ら委員長に立候補して組合員26人まで増やしたことを4月の衛都連中央委員会で発言して注目を集めました。河南町役場の地下1階にある組合事務所を訪問し、立華委員長と新役員のみなさんにお話をうかがいました。

### 河南町に入庁された理由は？

2012年に入庁して15年目です。大学では準硬式野球部でがんばっていました。卒業後は、障がい福祉関係のNPO法人で約2年働いて、地元のために働きたいと河南町の採用試験に3回目で合格しました。

### 委員長までストーリー

現書記長の内田さんから組合に加入しないかと継続的に声をかけ



衛都連中央委員会で発言する立華委員長

衛都連第173回  
大阪自治労連衛都連

そだと実感しています。  
「もっと職場環境をよくしたい」「労働組合のイメージをよくしたい」と思っています。小さくても身近な組合だからこそ困りごとや不満を吸い上げて一つひとつ要求を実現していきたい。こんな組合やったら入りたいと思える活動をしたいですね。

### みんなで決めた当面の活動

- ① 組合事務所を片付けてきれいに、② 組合員に物価高騰対策応援(商品券を配布)、③ 組合ニュースの発行(商品券の配布、組合員増える情報、身近で困ったことや不満・要望アンケート募集など掲載)、④ ニュースに加入届をセットして全職員に配布。そして、アンケート結果から要求を決めて町当局に要求書を提出し、新体制で団体交渉をしたいです。

### 地元河南でハマっていること

河南町生まれ38歳。地元の消防団に所属し、今年9月の消防ポンプ操法大会に出場するので、勤務後も練習に励んでいます。地域の秋祭り(だんじり)にも参加。家でメダカの飼育、黒豆柴(ポン太くん)を飼い始めて、野球は今も続けています。

### 委員長になってどうですか？

委員長に立候補しました。

委員長に就任して、それぞれの職場にあいさつ回りをして、未加入者にも声をかけて組合員が8人から26人に増えました。これは、自分の力だけではなく、これまで前委員長の内田さんが労働組合の旗を守ってくれた土台があったこ

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

「このままではあかん」と少しでも仕事をしやすくするため

「労働組合に入ろう」と2021年に加入しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。

その後、異動した産業部門の職場でも人員不足で苦勞し、「もっと生き生きと仕事したい」と感じ、職場の環境を改善させるため

委員長に立候補しました。